



苗木は大きくなったかな？

8月22日（木）、標茶町立中茶安別小中学校の学校林「るんるんフォレスト」で「夏の学校林活動」が開催されました。

今回は、5月下旬に植樹した7種500本の毎木調査と併せて、植栽木を野生生物の被害から保護することを実感してもらうため、ツリーシェルター（保護管）を被覆しました。

まず始めに、当センターから活動内容や注意事項等を説明した後、児童は2班に分かれ役割分担をして、シラカンバやミズナラの活着や食害状況を調べるとともに、樹高を測りました。



▽職員の説明を聞く児童の様子



▽植栽木の樹高を測る児童の様子



▽ツリーシェルターの組立ての様子

移動の際には、カミキリムシやバツタ、アリの大群等を発見し、児童からは歓声や驚きの声があがっていました。

その後、児童と先生でツリーシェルターの組立てを行ったところ、用意したものはあつという間に組上がり、シラカンバ・ミズナラ・ナナカマド・アオダモ・カラマツに被覆しました。

児童からは「もう、できた！」や「もう一本、組立ててもいいですか？」等の声があり、楽しみながら取り組んでいただけで、予定していた2時間の活動はあつという間に過ぎ、無事、閉会となりました。

森林のチカラと魅力を学びました

8月6日（火）、厚岸町と標茶町に広がるパイロットフォレスト国有林で「初任段階教員研修」が開催されました。

この研修は、北海道教育庁釧路教育局と根室教育局が、採用3年目の教員を対象に「木育体験等」をテーマとして行ったもので、今年度は中標津町の小学校と高校に勤める3名の先生が受講しました。

3日の研修期間のうち、初日は釧路総合振興局森林室と根釧西部森林管理署・当センターが連携し、森林整備作業現場の見学や森林環境教育の進め方等を企画しました。

まず始めの「森林整備作業現場の見学」では、森林整備を受注している事業者の協力を得て、高性能林業機械による伐倒・枝払い・玉切り・集材等の実演が行われ、大きなカラマツが、あつという間に丸太となり



▽泥水のろ過実験を観察する研修生の様子



▽森林整備作業の解説を聴く様子

搬出されていく光景に、研修生は驚きの声をあげていました。

昼食後は、研修棟で森林管理署の担当者が、木の枝や葉・花等の森林の恵みを用いたボードゲームと万華鏡の作り方を解説し、研修生からは

「これ、子どもたち喜ぶね。」等の声がありました。その後、森林整備の解説と併せて、パイロットフォ

レストの造成を記録したDVDを視聴しました。

当センターは、森林の公益的機能を解説し「水源かん養機能」では、ペットボトルで作成した簡易ろ過装置で、泥水がろ過される様子を観察してもらい、豊かな森林の役割を実感いただきました。

当日は、蒸し暑い一日となりましたが、研修生からは「こんなに広い森林が人工林と知り、びっくりしました。」や「環境教育に力を入れていきたい。」等の感想がありました。

子どもの発想力は無限大です

7月28日（日）、標茶町駒ヶ丘公園の特設会場で、第30回「子どもの夢を育てるまつり」が開催されました。

これは、あしたを担う子どもたちの夢を育むとともに、世代間の交流を通じて、地域の連帯意識の高揚を図ることを目的として開催されたもので、町内や近隣の様々な団体が出展し、金魚すくいやヨーヨー釣りの水遊び、ミニSLの運行等が行われました。

当センターは、マツボックリや木の枝・輪切り等を使った木工クラフ



▽木工クラフト作りをする親子連れの様子

ト作りを行ったところ、見本を指差して「こんなの作りたい！」と先にイメージを決めてから取掛かる子、「この飾り全部使っていいの？」とマツボックリにビーズ等の装飾をたくさん付ける子、また、創作意欲があふれ出し超大作を作る子等、子どもたちの発想力の素晴らしさに、感心する一日となりました。

当日は、青空が広がる絶好のイベント日和となり、当センターのブースには30名を超える方々が訪れ、一時は用意した席が全部埋まるほどの盛況となりました。



林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305

【E-mail】h_kushiro_fm@maff.go.jp

【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。